

### 第三セクター磐田原総合開発株式会社の経営健全化方針

この方針は本市が出資する第三セクターの磐田原総合開発株式会社（以下「法人」という）の経営健全化のための方針を定めるものである。

なお、方針の内容については、法人が借入金の返済を確実に履行することを目的として事業計画並びに資金計画を定めた「経営計画」をそのまま引用することとする。

磐田原総合開発株式会社 経営計画  
(令和5年度～令和10年度)

令和4年8月

## 1 経営計画策定の目的について

当社は平成23年8月に平成23年度から平成34年度（令和4年度）までの12年間を計画期間とした経営計画を策定し、収益事業の見直しや販売費及び一般管理費の圧縮を行うことで、収益改善に努めてきた結果、第1目標としていた「磐田インターチェンジ・遠州豊田パーキングエリア建設負担金（NTT無利子借入金）」の返済を、平成30年度までに計画通り完了することができた。

しかしながら、建設残土処分場運營業務の廃止や新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市民活動自粛の影響等を受けた自動販売機収入の減少などにより、当社の営業利益は大きく減少し、第2目標としていた金融機関からの借入金返済を計画通りに履行することができず、令和3年度末において1億9千450万円を残している状況である。

本経営計画は返済期限が令和5年度から順次到来する磐田市からの借入金返済の繰り延べを依頼し、金融機関への借入金返済を確実に履行することを目的として策定する。

## 2 計画期間

本計画の期間は、前計画の終了から金融機関への借入金返済完了予定年度である「令和5年度から令和10年度」までの6年間とする。

## 3 今後の経営の基本方針

主要事業である自動販売機設置事業や磐田市職員駐車場管理・運營業業等を安定的に継続するとともに、販売費及び一般管理費の圧縮に努めることで、金融機関からの借入金返済のための原資を確保することを今後の経営の基本方針とする。

## 4 会社の経営状況

### (1) 自動販売機設置事業

市内の公共施設を中心に缶・ペットボトル飲料の自動販売機を設置し、入札により設定した1本あたりの手数料に応じた手数料を収入している。近年は、新型コロナウイルス感染症による公共施設の閉鎖や市民活動の自粛等の影響を受け、売上が減少している。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自販機設置台数	213台	206台	199台
手数料収入	37,389,765円	33,696,594円	31,729,315円

### (2) 磐田市職員駐車場管理・運営事業

平成24年度から磐田市有地と民間有地を借り受け、約1,500台分の駐車場の管理運営を行っている。

#### 【料金】

区分	月額料金
正規	1,600円
会計年度	250円～1,050円

#### 【利用者数と売上金額】

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数(平均)	1,530人	1,492人	1,545人
売上金額	21,879,300円	21,930,500円	23,029,250円

### (3) 販売費及び一般管理費

令和2年4月から社員の「給与・旅費」規定を「磐田市嘱託職員の例」から「磐田市再任用職員の例」に改めたため、販売費及び一般管理費は増加した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
販売費及び一般管理費	3,903,456円	5,439,970円	5,186,347円

#### (4) 利益

営業利益※1はプラスになっているが、建設負担金償却費※2などの営業外費用や法人税、住民税及び事業税等を差し引いた純利益※3はマイナスになっている。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
営業利益	48,844,667 円	44,097,153 円	43,693,284 円
純利益	△53,942,163 円	△39,628,171 円	△20,199,868 円

営業利益※1

- ・・・主たる営業活動で生じた利益

建設負担金償却費※2

- ・・・平成8年度から平成30年度にかけて支払った「磐田インターチェンジ、遠州豊田パーキングエリア負担金」の償却費用

純利益※3

- ・・・営業利益から営業外費用や法人税、住民税及び事業税等を差し引いた残りの利益

## 5 金融機関からの借入金返済について

磐田インターチェンジ・遠州豊田パーキングエリア建設負担金（NTT 無利子借入金）を返済するため、平成 23 年から平成 27 年にかけて二つの金融機関から借り入れた 3 億 6 千 350 万円を経営状況に応じて毎年度返済している。

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
返済金額	38,000,000 円	31,000,000 円	30,000,000 円
借入金残額	255,500,000 円	224,500,000 円	194,500,000 円

## 6 磐田市からの借入金返済について

令和 5 年度から順次償還期限の到来する磐田市からの借入金については、金融機関への返済を完了するまでの間、返済の繰り延べを依頼する。

借入年度	借入金額 (千円)	償還方法	第 1 回目 償還日	償還期限
平成 8	125,000	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 9	145,000	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 10	189,500	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 11	250,000	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 12	250,000	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 13	250,000	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 14	150,000	一括		令和 5 年 5 月 31 日
平成 18	147,000	年賦元金均等	令和 5 年 5 月 31 日	令和 23 年 3 月 9 日
平成 19	130,000	年賦元金均等	令和 5 年 5 月 31 日	令和 23 年 3 月 9 日
平成 20	150,000	年賦元金均等	令和 5 年 5 月 31 日	令和 23 年 3 月 6 日
	250,000	年賦元金均等	令和 5 年 5 月 31 日	令和 23 年 3 月 11 日
合計	2,036,500			

## 7 資金計画

以上の取組を踏まえ、次ページのとおり年度ごとの資金計画を見込む。  
なお、資金計画は、収益事業等の状況に応じて適宜見直し、健全経営に努める。

■資金計画表

項目	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)
前期繰越金 (①)	12,482	17,333	21,278	25,223	29,168	33,113	37,058	41,003
自動販売機設置事業	27,197	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
建設残土処分場運營業務	45	45	45	45	45	45	45	45
風力発電施設鳥類モニタリング調査業務	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
磐田市職員駐車場管理・運營業務	20,636	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
売上総利益 (②)	48,878	48,045	48,045	48,045	48,045	48,045	48,045	48,045
販売費・一般管理費 (③)	5,186	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100
営業利益 (④=②-③)	43,692	42,945	42,945	42,945	42,945	42,945	42,945	42,945
営業外費用等 (法人税、住民税及び事業税) (⑤)	8,841	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
資金過不足額 (⑥=①+④-⑤)	47,333	51,278	55,223	59,168	63,113	67,058	71,003	74,948
金融機関返済予定額 (⑦)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	14,500
次期繰越金 (⑥-⑦)	17,333	21,278	25,223	29,168	33,113	37,058	41,003	60,448
金融機関借入金残額	194,500	164,500	134,500	104,500	74,500	44,500	14,500	0

57

項目	金額(千円)
金融機関からの借入金総額(2011~2015年度)	363,500
金融機関からの借入金返済額(2012~2021年度)	169,000
金融機関からの借入金残額	194,500

【前提条件】

- ・令和3年度は実績額を記載
- ・令和4年度以降も令和3年度並みの営業利益(④)が見込まれることを想定。